千葉市感染症発生動向調査情報

2018年 第9週 (2/26-3/4) の発生は？

1 定点報告対象疾患（五類感染症）

上段：患者数
下段：定点当たりの患者数

「定点当たりの患者数」とは
報告患者数/報告定点数。

報告のあった定点数	9週	8週	7週	6週
小児科	18	18	18	18
眼科	5	5	5	5
ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ	28	28	28	27
基幹定点	1	1	1	1

定点	感染症名	千葉市 注意報	2/26-3/4 9週	2/19-2/25 8週	2/12-2/18 7週	2/5-2/11 6週	千葉県 2/19-2/25 8週
小児科	RSウイルス感染症		2 0.11	4 0.22	5 0.28	3 0.17	22 0.16
	咽頭結膜熱		0 0.00	0 0.00	0 0.00	2 0.11	15 0.11
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		35 1.94	51 2.83	33 1.83	36 2.00	402 2.98
	感染性胃腸炎		79 4.39	55 3.06	59 3.28	62 3.44	527 3.90
	水痘		2 0.11	2 0.11	2 0.11	3 0.17	41 0.30
	手足口病		0 0.00	0 0.00	1 0.06	0 0.00	1 0.01
	伝染性紅斑		1 0.06	0 0.00	1 0.06	0 0.00	6 0.04
	突発性発しん		5 0.28	5 0.28	8 0.44	7 0.39	39 0.29
	ヘルパンギーナ		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.01
	流行性耳下腺炎		2 0.11	3 0.17	1 0.06	1 0.06	13 0.10
インフル	ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ（高病原性鳥ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞを除く）	↓↓★	335 11.96	459 16.39	686 24.50	1,383 51.22	4,733 22.12
眼科	急性出血性結膜炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.03
	流行性角結膜炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	5 1.00	11 0.31
基幹定点	細菌性髄膜炎 （髄膜炎菌性髄膜炎を除く）		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	無菌性髄膜炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	マイコプラズマ肺炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 1.00	0 0.00
	クラミジア肺炎 （オウム病を除く）		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	感染性胃腸炎 （ロタウイルスに限る）		0 0.00	1 1.00	0 0.00	0 0.00	1 0.11

★★：流行中　★：やや流行中　◎：増加　○：やや増加　→：変化なし　↓：やや減少　↓↓：減少

2 全数報告対象疾患（8件）

病名	性	年齢層	診断（検査）方法	病名	性	年齢層	診断（検査）方法
結核	男性	10歳未満	ツベルクリン反応	結核	女性	40歳代	IGRA検査
結核	男性	20歳代	IGRA検査等	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	男性	50歳代	細菌の検出、薬剤耐性の確認及び起因菌の判定
結核	男性	50歳代	画像診断		男性	60歳代	
結核	男性	80歳代	病原体等の検出	百日咳	男性	10歳未満	病原体遺伝子の検出

・第9週は、　結核5件（33）、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症2件（3）、百日咳1件（9）の報告があった。

※ （）内は2018年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

定点当たり報告数　第9週のコメント

＜インフルエンザ＞前週より減少し11.96となった。流行発生警報終息基準値は上回ったままで、過去10年の同時期と比べると少なめ。

■ トピック ■

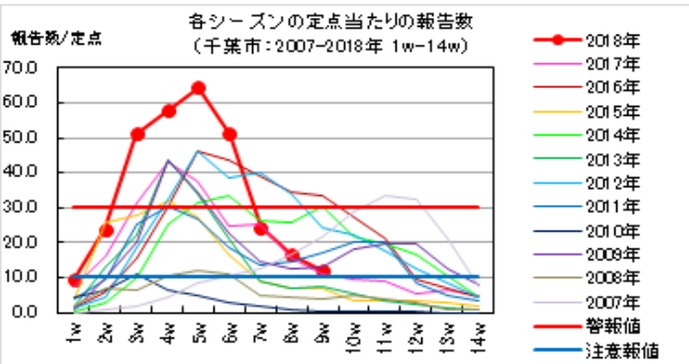
＜インフルエンザ＞

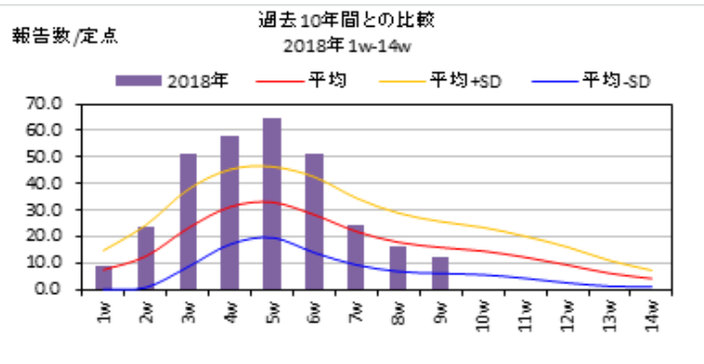
全国レベルの第8週は前週より減少しましたが、流行発生警報終息基準値（10.0/定点）は上回っています。過去10年の同時期と比べるとやや多めとなっています。都道府県別では沖縄県、高知県、北海道の順で多く報告されています。千葉県はほぼ全国レベルと同等となっています。

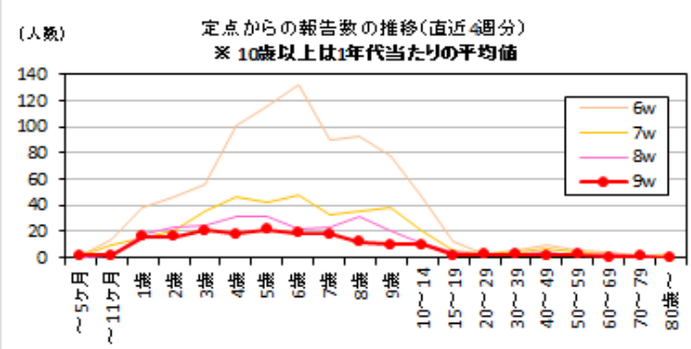
千葉市の2018年第9週は前週より更に減少し11.96となりました。流行発生警報終息基準値は上回ったままで、過去10年の同時期と比べると少なめです。 区別の発生状況は、中央区（15.8/定点）で流行発生警報終息基準値を上回り最多で、同区の10歳代前半で最多、一年代当たりでは1歳で最も多く発生報告がありました。その他の区は花見川区以外で全て流行発生警報終息基準値を上回っています。

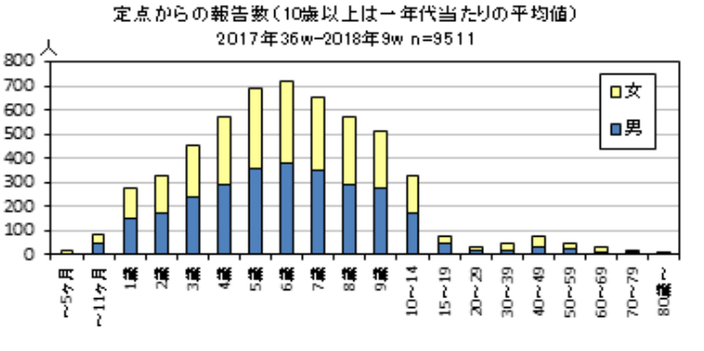
型別迅速診断結果では、第9週はA型が32.2%、B型が58.2%となっており、B型が6割近くを占めています。

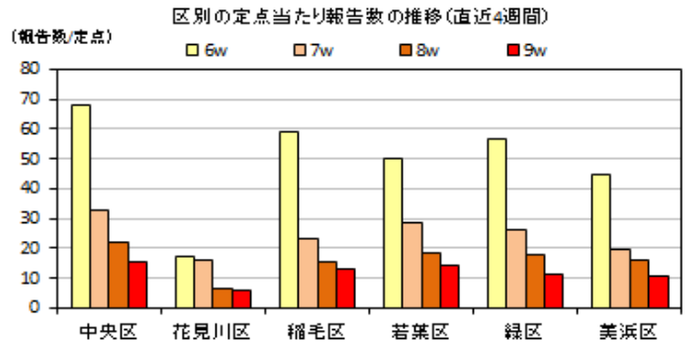
今シーズンである2017年第36週から2018年第9週までの累積報告数（n=9511）によると、性別では男性が50.1%（4761名）、女性が49.9%（4750名）で、年齢階級別の一年代当たりでは6歳（7.6%：720名）、5歳（7.3%：691名）、7歳（6.9%：655名）の順に多くなっており、20歳未満は全体の72.4%、10歳未満は全体の51.2%となっています。

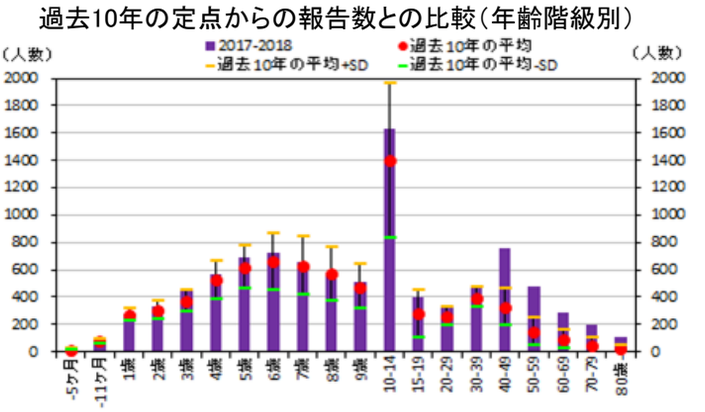












第9週	市全体	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区
基準値超過	終息	終息	－	終息	終息	終息	終息
過去10年の同時期との比較	少なめ	やや少なめ	少なめ	ほぼ平均	やや少なめ	やや少なめ	少なめ
昨年の同時期との比較	多い	多い	少ない	少ない	多い	多い	多い